

「外国語教育研究室」CALL教室開設50周年 「大学の言語教育と国際化」をテーマに 佐藤東大名譽教授が記念講演



▲講演する佐藤氏

50年。記念行事が神田キャンパスで1月24日に行われ、「大学の言語教育と国際化」をテーマに講演と研究発表が行われた。

冒頭、寺尾格外国語教育研究室長(経済学部教授)が写真を交え50年の歩みを紹介。「当初はヒアリング中心だったが、インターネットで世界に開かれた環境で語学を学べるようになった」として、開設以来の名称(LI教室、LI研究室)を2014年度から「CALL教室、LI研究室」を

最新の機器を備えた視覚教室(LI教室)が1964年に生田キャンパスに誕生し、本格的な言語教育がスタートして



▲質問に答える3教員。右から土屋教授、仲道非常勤講師、杉本非常勤講師

後半は、仲道慎治法学部非常勤講師(スペイン語)が教員2人によるリレー形式の授業について、杉本孝子経済学部非常勤講師(英語)がCALL教室の機能について報告。土屋昌明経済学部教授(中国語)は、2014年度から始まった1年次の教養科目「世界の言語と文化(中国語)」を例に、外国語教育の枠を超えた授業について語った。学生の興味を引くための工夫や留意点について、参加者との質疑応答が続いた。

土屋教授の授業を履修している磯部歩さん(経済)は「日本語と中国語の共通点や差異がよく

外国語の又々々 外国語教育研究室

—●36●—

寺尾 格 外国語教育研究室長

外国語の学習には大きな「つまずきの石」が数多くあります。文法は難しいし、覚えることはたくさんある(ありすぎる)し、テストは毎回だし、先生はこわいし…特に入門レベルで??となるのが、固有の「発音」と「イントネーション」で、これが習い始めの大きな障害となっています。語学に限らず、**学の知識とは**学に固有の「用語(難しく言えば概念)」を理解して「言える」ことで、おおむね1000語程度が「基礎語=基礎知識」になります。覚えるためには「口」で何度も反復することが大切ですから、新しい「発音」の基本は避けて通れません。

別にネイティブと同じでなくても良

いのですが、そこを間違えたら通じないというポイントがあります。これは独学では難しく、良いコーチの下で、実際に声を出し、何回も間違えながら、少しずつ修正を繰り返す「身体化」の作業が不可欠です。

例えば日本語の「アップル」は「3音節」ですが、英語の「apple」は「a」だけが「母音」で、残りは「子音」となり、全体は「1音節」となり、日本語とは全く異なる「イントネーション」です。「言えない」ものは「聴けない」のですから、「文字」で説明されるよりも、実際に「声を出しながら」練習するしかありません。未知の外国語は、未知の身体操作と向き合うことであり、自分の身体の新たな可能性を開拓することなのです。

※短縮版。全文はCALL教室ホームページで。



廣瀬玲子訳

中国の小説として日本人にもなじみのある『紅樓夢』『水滸伝』『西遊記』。この三つの物語はすべて石から始まっている。『西遊記』では、孫悟空が天地の霊気を受けた石から生まれる。『水滸伝』では、石碑の下に封印されていた百八の魔星として梁山泊に結集する。『紅樓夢』はという

と、天界の巨石が小さな玉となって人間界に降り、天界にもとって自らの経験を伝えた話という設定になっている。なぜ石なのだろうか。実はその背景には石にまつわる古代以来の多様な伝説が存在するのである。信仰の対象となった石、厄よけの石、音を出す石、もの言う石など不思議な石たちが紹介される第二章「石の神話辞典」は単独で読んでもおもしろい。

石のシンボリズムを通して中国文化の深層と文学研究の魅力が味わえる楽しい一冊。著者はシン・ワン。(法政大学出版局、本体4800円+税) 訳者(ひろせ・れいこ) 文学部教授。主な担当は「中国文学史」。

専修人の新しい本

と、天界の巨石が小さな玉となって人間界に降り、天界にもとって自らの経験を伝えた話という設定になっている。なぜ石なのだろうか。実はその背景には石にまつわる古代以来の多様な伝説が存在するのである。信仰の対象となった石、厄よけの石、音を出す石、もの言う石など不思議な石たちが紹介される第二章「石の神話辞典」は単独で読んでもおもしろい。

法学部学術講演会 食品表示規制の問題点指摘



法学部の学術講演会が1月7日に神田キャンパスで開かれ、独立行政法人農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の仙台センターの専門調査官、澁谷樹氏が「不当な食品表示について」と題して講演した。学生ら162人が聴講した。

澁谷氏はFAMICを「土づくりから生産、加工・流通・販売、消費まで、食品の安全性や表示などを監視し科学的に分析する機関」と説明した。自身は食品表示法に関する研究で博士(農学)(東北大学)の学位を取得し、宮城県農業大学校で非常勤講師も務める。

同氏は経済法と食品表示との関係を取り上げた。JAS法(農林水産省)と食品表示法(公正取引委員会)は、特に原産地の記載について規制が重複していると指摘。「統一的な食品法がないため、法律の解釈や適用が混乱している」と指摘した。

さらに、改正JAS法の矛盾にも言及。偽装表示の多発を受け、JAS法の産地表示にかかわる罰則が強化されたが「不正競争防止法の罰金のほうが重い」と述べ、改正JAS法だけで起訴された例はないと述べ、現行制度の問題点を突いた。

巨人新人研修会 佐藤教授が講演



佐藤雅幸経済学部教授(スポーツ心理学)は、プロ野球の読売ジャイアンツの新人研修会で講演、

メンタルトレーニングの大切さを説いた。写真は、1月12日、川崎市よみうりランドの同球団合宿

所で、佐藤教授は6人の新人(育成4人含む)を前にして目標設定の重要性やプロ選手として大切な「情熱」と「哲学」について熱く講演した。佐藤教授が同研修会で講師を務めるのは今回で7回目。読売ジャイアンツのホームページでも紹介されている。http://www.giants.jp/g/news/news_369214.html

Facebook ページ開設

専修大学は公式 Facebook ページを開設しました (https://www.facebook.com/SenshuUniversity.jp)。専修大学 Web サイトトップページに掲載されたニュース、イベント、お知らせなどの情報をはじめ、日常の出来事や予定などの情報を配信していきます。なお、専修大学へのご質問やご意見などには、Facebook 上では対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

論集発行

各学部では教員の研究成果を収録した「論集」を随時刊行し、生田・神田両キャンパスに配架している(無料)。

【生田】▽1号館1階▽4号館2階▽7号館1階▽8号館3階▽9号館1階▽10号館1階【神田】▽1号館3階



鈴木健郎・根岸徹郎・厳基珠編

専修大学社会科学研究所社会科学叢書16 学芸の還流

また、専修大学学術機関リポジトリ「S-Box」にインターネット上の電子公開書庫でも順次公開される。

社会科学研究所の共同研究「フランスと東アジア諸地域相互における近現代学芸の共同主観性に関する研究」(2009~11年、鈴木健郎代表)の成果を報告する一冊。フランス、中国、日本、